## 炭疽症と疑われる症例のサーベイランス

以下の質問は、確定診断がついていなくても、炭疽症であると臨床的に疑われる場合に記

入してください。				
<u>A.スクリーニングのため</u>	の質問			
1)患者は、集中治療室	に入院している	(はい	いいえ)	
答えが、はいの場合	、 <u>医療機関名</u>			
	所在地			_
	電話番号			<u>—</u>
2)入院時に、無菌部位	からの培養が行われ	れたか。( 血液	、髄液など)	
	(はい いい)	え)		
答えがはい、の場合	、それは、(血液で	ある、脳脊髄	液である、両方)	
この時点で、もし、いず	れでもないか、また	:は、不明の場	合は、御記入はここで終	了です。
3)患者特性				
年齢: 歳				
	<u>女</u>			
性別: 男	<u>女</u>	<u></u> 且		
性別: 男 住所: 入院日:	<u>女</u>	<u>日</u> 日		
性別: 男 住所: <u>入院日:</u>	<u>女</u>	<del></del> _		
性別: 男 住所: <u>入院日:</u>	<u>女</u> 年 月 年 月	<del></del> _		
性別: 男 住所: 入院日: 発症日:	女 年 月 年 月 <b>する質問</b>	<u>日</u>	ナください。	
性別: 男 住所: <u>入院日:</u> <u>発症日:</u> <b>B 患者の臨床的情報に関</b> 1 ) 次の臨床的症状がみ	女 年 月 年 月 <b>する質問</b> られるようでした。	<u>日</u> ら、X をお付け	·ください。	
性別: 男 住所: 入院日: 発症日: <b>B 患者の臨床的情報に関</b> 1)次の臨床的症状がみ 体温 39 以上	女 年 月 年 月 <b>する質問</b> られるようでした。 または、35	<u>日</u> ら、X をお付け 以下	けください。	
性別: 男 住所: 入院日: 発症日: <b>B 患者の臨床的情報に関</b> 1)次の臨床的症状がみ 体温 39 以上	<u>女</u> 年 月 年 月 <b>する質問</b> られるようでした。 または、35 期血圧が90mmHg	<u>日</u> ら、X をお付け 以下	けください。	

- 2) さらに次の臨床症状があるようでしたら、X をお付けください。
  - □ 急激に病態が悪化 (48 時間以内で)
  - □ 吐血、または、血性便
  - □ 髄膜刺激症状、頚部硬直
  - □ 意識障害
  - □ 痙攣
  - □ 皮膚病変で、潰瘍または、痂皮が認められる

<u>C.</u>	検査結果についての質問
1 ]	)無菌部位からの検体のグラム染色はされましたか。( はい いいえ )
答	えがはい、の場合、グラム染色の結果は、
	グラム陽性桿菌が認められた
	グラム染色では染色あるいは形態が同定するのが困難であった
	その他 ( )
2	)培養結果についてお答えください。
	グラム陽性桿菌が培養された
	培養結果を同定するのが困難であった
	その他 ( )
3	) その他の検査結果で重要なものがあれば、御記入ください。
	(
	画像診断結果についての質問
以一	Fの所見が、胸部 X-線、または、胸部 CT で認められましたか。
	縦隔の拡大 (はい いいえ)
	胸水 (はい いいえ)
	胸部 X-線、または、胸部 CT 上での浸潤影 (はい いいえ)
<u>E.</u>	転帰についての質問
	生存、自宅に退院した 退院時の診断 (
	生存、現在、集中治療室に入院中
	死亡 死亡原因 ( )
最後	<b>後に、患者の初期症状について</b>
	呼吸器症状を伴う発熱
	髄膜炎
	出血性腸炎

□ 以前は健康であった

□ その他 (

□ 患者は気管内挿管されている

)